

令和2年度 第1回 根室市市政モニター会議 記録

日 時：令和2年8月4日(火) 午後6時30分～午後7時45分

会 場：根室市役所 3階 大会議室

参加者：市政モニター8名

根室市5名（市長、総務部長、総務課長、広報広聴主査、広報広聴担当）

1. 会議概略

1回目の会議となった今回は、テーマである「市民と行政がともに考え取り組む双方向の情報共有」について、テーマを選定した理由と現状の市の取組を紹介した。

その後、意見交換を行ったが、具体的なアイデアが思いつく状況にはなかったことから、次回の会議までに各々でアイデアを考えてくることとなった。

2. 会議進行

- (1) 開会（総務課長進行）
- (2) 市長挨拶（公務のため退席）
- (3) 令和2年度「根室市市政モニター会議」の開催方法について説明（広報広聴主査）
- (4) テーマについて説明（広報広聴主査）
- (5) 質疑応答
- (6) 意見交換
- (7) 閉会

3. 市長挨拶

本日は、令和2年度、第1回市政モニター会議に、夜間の開催にも関わらずご出席いただき誠にありがとうございます。また、日頃より、市政の推進に対しまして、格別なるご尽力を賜り、この場を借りてお礼申し上げます。

この市政モニター会議は、市政に対し、広く市民皆さまのご意見やご提言をいただくため毎年開催しているもので、本年度は12名の方々を市政モニターとして委嘱させていただきました。今年度末までの委嘱期間内、数回の市政モニター会議の開催を予定しておりますので、よろしく願いいたします。

さて、今回の市政モニター会議は、「市民と行政がともに考え取り組む双方向の情報共有について」をテーマとして設定させていただきました。

このテーマの意味であります。根室市第9期総合計画の重点プロジェクトに位置付けております「広報広聴の充実など開かれた行政運営の推進」のため、この市政モニター会議もそうですが、市民の皆さんからたくさんのお声をいただき、市民と行政が街の発展に向け、ともに取り組んで行くことを目指しております。

また、平成29年度に行った市政モニター会議の提言により、平成30年に実施した「根室市の広報活動に関するアンケート結果」によりますと、市では広報紙やフェイスブック等の独自の情報媒体のほか、マスメディアを活用した情報発信を行ってはいるものの、まだまだ、市民の皆さんに届いていない現状にあることがわかりました。

皆さんからいただいたお声を行政に反映させても、その情報が、市民お一人おひとりに届いていなければ、これは、実施していないと同意義にとらえられても仕方がないことと思います。

市政について一人でも多くの市民の皆さんに知ってもらうため、更なる広報広聴活動の充実・改善が必要と考えておりますが、市政モニターの皆さんには、市民目線での議論をいただくことを期待するものであります。

本会議は、まちづくりの主役である市民の皆さんの声を市政に反映することが目的であります。

出されたご意見・ご提言等を反映させていただきながら、「広報」と「広聴」の充実に取り組んでまいりたいと考えておりますので、モニターの皆様には、是非とも忌憚のないご意見・ご提言をいただきますようお願い申し上げます、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

4. 質疑応答内容

- ・令和2年度「根室市市政モニター会議」の開催方法については質疑なし
- ・テーマについて質疑応答

●モニター（F）

市のフェイスブックと市のホームページの掲載内容は同じでしょうか？

○広報広聴主査

同じではないです。簡単な内容でしたらフェイスブックだけでお知らせとなることもありますが、フェイスブックは最新記事から順に掲載されるため古い記事が下に追いやられることから、記事が長いようであれば短くして、市のホームページに誘導する形で活用しています。

5. 意見交換（概要）

- ・世代に合わせた情報発信が必要
- ・LINEを活用してはどうか
- ・多くの市民は市政に関心がないので、需要が無いのに無理に供給しなくても良いのでは
- ・今の市のホームページは閲覧しにくい
- ・関心を持ってもらうためには市民側にメリット（景品が当たる等）が必要
- ・市役所は敷居が高いので、市に対し苦手意識を持っている人が多い
- ・高齢者は「広報ねむろ」で十分
- ・インターネットの普及によりテレビは見なくなった
- ・高齢者も苦手意識をもたず、今の時代にあった情報収集方法を学ぶべき
- ・根室の魅力は自然なので、インスタグラムを活用してはどうか

6. 意見交換（詳細）

●モニター（A）

私、平成29年度のモニター会議に参加してしまして、今回のテーマは平成29年度の時と同じではないでしょうか？

○広報広聴主査

平成29年度は色々な取り組みを行ってはどうか？というご提言をいただいて、広報紙のリニューアルやフェイスブックによる情報発信に取り組みました。

さらに、ご提言の中にありました広報に関するアンケート調査を行った結果、市の広報広聴活動が市民に浸透していないことが課題として分かりましたので、もっと市民の皆さんに

知っていただいて、利用していただくためにどうしたら良いかという事を議論していただくことが今回のモニター会議の目的です。

●モニター（A）

私はフェイスブックを利用した事がありますが、自分に興味の無い内容の情報が発信されてくることもあり、必要性を感じなくなりましたので止めました。

これから高齢化社会に向かうことを踏まえると、自分も含め、年齢的にインターネット環境の必要な情報収集の方向には向いていかないと思います。

ネットを使いこなせる若い人と、高齢者に向けた情報の発信の仕方は違いますよね。

○広報広聴主査

まさにAさんのおっしゃるとおりだと思いますので、「インターネット環境がある人に向けた情報発信」と「インターネット環境を要しない情報発信」という形で柱を分けさせていただきました。

実は私もSNSに苦手意識が有り、LINEやフェイスブックも最近始めたばかりですが、知らない人から連絡が来たり迷惑な部分もあると感じています。

●モニター（A）

知人ならいいですけど、知らない人から情報が発信されるのは困ります。

まあ、市から発信される情報で迷惑に思うことはないと思いますけど。

モニターさんの中でフェイスブックを利用されている方はいらっしゃいますか？

（3名の方が挙手）

少ないですね。

○広報広聴主査

フェイスブックを利用されていない方に無理に利用させるということではありませんし、利用していない方にも何か情報発信ができないのかな？というところです。

●モニター（F）

みなさん、LINEを利用している方はいらっしゃいますか。

（多数が挙手）

LINEの利用者が多いので、LINEを活用してはどうでしょうか。

○広報広聴主査

総務省でも、国内で一番活用されているSNSはLINEという発表もありますので、有効なツールだと思います。

●モニター（A）

LINEでもフェイスブックでもなんでもいいと思いますが、とにかく皆さんに広く知っていただきたいということですね。

○広報広聴主査

そのとおりです。いろいろな取り組みを行っておりますが、知っていただけていない、登

録していただけないという壁を越えなければ、情報が伝わっていきません。

●モニター（G）

市のホームページは仕事柄よく見ますが、ホームページから声を届ける方法がありますか。

○総務課長

ございます。

●モニター（G）

あるんですね。それがちょっと分からなかったです。正直、リニューアルされた今のホームページって見づらいですね。

市のホームページは「市の顔」だと思いますので、もっと意見を述べるページが分かりやすいところがあると良いと思います。

○広報広聴主査

皆さんが求めている情報は各課のホームページに掲載されておりますが、そこまでたどりつくための手順が多いのは否めませんので、フェイスブックで最新記事を発信する際に、そのページのURLを記載して、直接たどり着けるように工夫しています。

●モニター（A）

そもそも必要性を感じないんじゃないでしょうか。私も自分に必要な情報が欲しい時は見ますが、そうでない時は全く見ないです。

常日頃、市政に興味を持って市の情報を取得している人はいないのでは？需要が無いのに供給しても意味がないじゃないですか。

でも、市はやらなければならないですよ。

○広報広聴主査

そうですね。ですから「市政に対する関心を高めたい」というのも今回のテーマの一つであります。

●モニター（G）

私たち市民は何に関心を持つかと言えば「自分にとってメリットがあるかどうか」なんですよね。

ですから、例えば、市の情報を取得するために何かに登録すると抽選で3名様に景品が当たるとか、そういう事をしなければ難しいのではないのでしょうか。

ほかにも、毎月、誰かの市民税がタダになるとか。

●モニター（B）

ふるさと納税がすごい集まっていますが、市では余っているからどうやって使うかに困っていると人から聞いたので、Gさんが言った様なことに利用すればいいんじゃないでしょうか。

●モニター（A）

市役所って敷居が高いですよ。市の職員から連絡が来るだけで嫌な感じを受ける方もいらっしゃるので、その方たちに市政に関心を持ってもらい、さらに情報を届けるということは難しいのではないのでしょうか。

○広報広聴主査

おっしゃるとおりです。私たちも色々と考えてはおりますが中々難しいので、市民のみなさんから意見をいただければと思うところです。

Dさんはどうですか、何かご意見ありませんか。

●モニター (D)

なんとも言えないですね。私たちの年代になったら「広報ねむろ」で十分ですよ。あとはテレビを見ていれば十分です。

○広報広聴主査

テレビは良くご覧になりますか？

●モニター (D)

あまり見ないですね。広報ねむろは良く見えています。

○広報広聴主査

ちなみに、若い人のテレビ離れが話題になったりしていますが、Hさんは普段テレビを見ますか。

●モニター (H)

見ていないですね。でも、フェイスブックやホームページは良く見えています。仕事柄。

●モニター (A)

やっぱり仕事柄ですよ。私たちの様な市政から遠い一般市民は見ないと思います。

○広報広聴主査

テレビはご覧になられますか？

●モニター (A)

テレビは見ないです。テレビを利用してYouTubeを見えています。

●モニター (C)

ネットがあればなんでも見られるので、私もテレビは見なくなってしまいましたね。

最近、痛感したのは、根室市の文化祭が中止になったんですが、釧路市は11月に芸術祭を無観客で動画配信するそうです。

私も、近々釧路に行って動画配信を手伝う会社の方にお話を聞きに行こうと思っていますが、やり方が分かっているれば根室も文化祭が開催できたのかも知れないので、来年度に向けて勉強して来たいと思っています。

ですから、この歳になっても覚えなければダメだということを痛感しました。

○広報広聴主査

Eさんはご意見ありますか。

●モニター (E)

私は市のホームページは年に何回か目的がある時にしか見ていないですけど、若い人といういろいろ話しをしても、やはり市の情報は見ていないようです。

広報ねむろはリニューアルされて、見るに値するものになったと思います。

○広報広聴主査

ありがとうございます。広報誌は良くなったとのご意見ですけど、皆さんおっしゃるとおり興味が無いと自ら情報を取りにいかないのが問題なのかなと思います。

●モニター（A）

広報紙に関してはこれ以上の発展は思いつかないですが、インターネットを利用した情報発信についてはお手上げですね。

○広報広聴主査

この中で一番若いHさんは、広報ねむろをご覧になりますか。

●モニター（H）

よく見えています。

○広報広聴主査

周りの同年代の方はどうですか。

●モニター（H）

広報ねむろの話題にはならないですね。

○広報広聴主査

広報ねむろも話題にしていきたいと思います。

●モニター（H）

努めます。

○広報広聴主査

例えば、自分の知り合いが掲載されていたりするとご覧になりますか。

●モニター（H）

それはそうですね。

○広報広聴主査

そういった、若い人にも広報紙を見ていただけるアイデアが、若い人の目線であるといいんですけども。

●モニター（H）

考えてみますけれども、さっき意見があったお得なクーポンとかが付いていれば見ると思います。

●モニター（G）

根室の魅力は自然だと思うので、インスタグラムを活用すれば良いと思います。インスタグラムの特徴は写真ですけど、根室の風景写真はすごくPRになると思います。また、野鳥なんか載せればすごく「見たいもの」になると思います。

●モニター（H）

インターネットでアンケートを取ったことはありますか。

○広報広聴主査
ないですね。

○総務課長

今回、コロナの関係もあって即時性を確保したいというところもあります。ですから、コロナの対策本部会議に報道機関も参加していただいで、直ぐに記事にさせていただけたといったこともあり、広報紙では補えない即時性が重要だなと感じております。

インターネットを活用して、また、インターネットが無くても、例えば、テレビをうまく活用してリアルタイムに情報を取得できるようにしては？というご意見など伺えればどの思いからテーマを設定したところですか。

定額給付金を例に出しますと、テレビでタイミング良く報道されたこともあり、かなりの反響がありました。

その辺も含め世間一般の資料を皆様に提供させていただくなどして、次回、即時性にも視点をいただいたご意見をいただければと思います。

●モニター（A）

定額給付金を例に出されましたが、やはり、自分にメリットがあることなので自ら情報を取得します。

○広報広聴主査

今の課長とAさんの話を補足しますと、広報紙は月1回の発行しかないので、即時性がある情報については広報紙でお伝えしきれません。

また、お得な情報も複数のツールを使って皆さんにお知らせしていますが、届かないという課題があります。

●モニター（A）

私たち一般市民は「行政に興味が無いということが素直な気持ち」だと言うことを受け止めていただかないと進まないと思います。

興味の無い私が興味を持てる様な取り組みが出来れば良いと思います。

○広報広聴主査

そうですね。率直なご意見ありがとうございます。

どうしたら良いか一緒に考えてもらえればと思います。

ほかにご意見が無いようですので、次の会議までに「市政に興味を持っていただく」こと、「市の取り組みを知っていただく」という課題について、市民目線で考えていただければと思います。

以上、つたない進行でありましたが私の役目を終わらせていただきます。

○総務課長

本日は、長時間に渡りありがとうございました。

次回の開催日について決まりましたら、改めてお知らせさせていただきます。

（会議終了後）

●モニター（A）

コミュニティの活性化も間接的に広報広聴活動の充実につながると思います。

インターネットが大切ではなくて、一番大事なものは人と人のつながりだと思います。

高齢者は、機械に疎いので高齢者同士の口コミで、一方で若い人は若い人同士でネットで繋がったり、高齢者にインターネットの使い方を教えたりとかできると思いますので、コミュニティの活性化と世代に合わせた情報発信をすれば良いと思います。

「地域コミュニティの活性化」も情報発信ツールの一つとして考えられると思います。

以上